

意見シート提出意見

(注) 個人情報等は、一部表記を修正等行っております。

番号	[【記入欄】]
1	<p>杉並小移転に関しての区民の具体的な意見、対する行政側の考えのくい違いが徐々に明確になってきた。 一区民としては現状の建てかえを望む。 継続しての話し合いが必要。</p>
2	<p>小学校は必ずしも静かな環境に囲まれなくとも子ども達は環境に合わせて成長できます。多くの能力が発達して にぎやかな場所でも、良い経験ができると思われます。(防音等近代建築がある) 一度失われた森は、未来 元には戻らない。すでに自然がほとんどこわされた。将来において大径木、緑地の保全となっているが すでにみどりの森はありません。 未来をになう子ども達の学校を低地に移す事は最も悪い環境に学校を造ることになる。 低地には空気がよどみます。校庭では子ども達がよどんだ空気を吸うこととなります。 杉一小学校を移す理由がありません この地でこれから子どもを育成することです</p>
3	<p>杉一小学校の跡地の計画についてはまだ具体的に決まっていないと言う事ですから住民の意見をきちんと聞いて進めてください。 区側のすすめ方は、一応は民主的にやっているようですが、最終的には区がごり押しで進めるのはおかしい!です。 説明の質疑を聞いて、、、 ※河北病院跡地に小学校移転は反対します ※協定書の見直しをするべき</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・河北の跡地に杉一小を移転すべきでない。 ・杉一は現在の場所で建てかえるべき。 ・全体として無ダな税金は使うべきでない。 ・移転B案は庁内で「区の意向」として決めた事実が判りました。住民の意見を聞いていない事が明らかになった。(野口担当部長の説明) <p>全て「庁内」で決まる!</p>
5	<p>まだこの話し合いは続ける必要があると思います。 次回は、河北病院関係者とけやき屋敷の関係者、杉一小の保護者を呼んで話し合いを行うことを要求します。</p>
6	<p>本日の「振り返る会」は、今日の1回限りでは、区役所の失態となる内容だったです。 1回ではなく、何回も何回も、開催して進めないと、区長の責任も問われる内容だった。</p>
7	<p>有意義な会だった。ふりかえるのは大事。 今後も重ねて話し合いの場を継続してほしい。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターや学識経験者(特に最初のあいさつだけで役に立たず)は不要。時間と費用のムダ 区と区民の話し合いだけで充分 ・P, 27 の「住民意見を伺ってきました。」はこれらの説明会に参加した方から「賛成した人はいない」という発言があったことから、住民意見を反映してないことが明白なので、今後は使わないこと。

阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりを振り返る会についての意見

8月31日開催の会についての意見を申し上げます。

1. この会は何を目的にして開催したのでしょうか？

北東地区のまちづくりについては区民の中に不満がくすぶっていることを区はわかっていたはずですが、全く統制のつかないめっちゃめっちゃな会だったと思います。私は終了予定の8時に退出したのでその後の様子はわかりませんが、学識経験者の意見を聞くこともなくとても残念でした。事前に郵送された資料と当日配布された資料を見るとこの会は区がこれまでの経緯を正当化するために開催されたようにさえ思われます。その理由を書きます。

① 杉一小移転改築については平成28年にはそのための協議会が協議していました。31日の発言者は27年からとも言っていました。それを示さず最初からA案とB案があったように書くのは虚偽です。

② 事前配布資料の目標の1に災害に強い安全・安心なまちとありますが、この案では駅周辺の住民・利用者の安全・安心は確保できません。

A. 火除け地であった××××の敷地空間の消滅と杉一小の移転による避難所の消滅

B. この計画で神明宮前の道の拡張により馬橋公園までの避難路が確保されるとあります。中央線高架近隣は火災の発生・延焼のリスクがあることは以前より言われており、現在高架下もレストラン・カフェが占めていて避難に使えないことが予想されます。そのため発災時に神明宮前の道に避難者が殺到することも予想できます。しかしこの道は杉一小の移転予定地の先は現在のままなのでボトルネック状態で大変な混乱が予想できます。この道にたくさんの避難者が密集すれば緊急自動車も入ることはできません。阿佐谷区民センターとけやき公園にどれだけの避難者が入れるのでしょうか。区民センターは帰宅困難者のために使うと聞きましたが、区民センターも延焼の可能性があります。この計画では駅周辺の住民の災害時の安全は確保されません。

9 C. 安全・安心を第1目標に掲げていながら、この会に防災課の担当者が出席していなかったことも残念でした。最も質疑応答は不可能でしたが。

③ 当日配布の資料33ページのみどりの確保について、これまで個人の努力で守られてきたみどりを地域全体で守りますとあります。街路樹は区が管理できるかもしれませんが、でも河北病院の敷地内のみどりは河北病院が管理保存するはずですが。屋上緑化も含めての緑被率になっているので、これは必ず保存できるのでしょうか？ そのチェックを区ができるのでしょうか？ 保存の費用を区が負担するのでしょうか？

④ 当日資料には新進会商店街のことが全く触れてありません。ここはにぎわいの道として残るのでしょうか？ 何か次の計画があるのでしょうか？ 歩行者が安全に歩ける道として車両は進入禁止になるのでしょうか？

⑤ ここまでのプロセスについても区は十分だったと、区民に土地交換や計画の立案の必然性について情報を全部公開し区民の理解を得られたと区は考えているのでしょうか？ それならこのように途中で振り返る必要はなかったでしょう。

以上、気が付いたことを書きました。

確かに、救急車が静々と新進会商店会を通るのは異常です。病院・小学校周辺の道の幅は必要です。しかし何もかもが河北病院の利益を最優先にしているように見えるのは本当に残念です。小学校は教育施設です。その有り様は、子どもたちに向けて子育て世代に向けて、私達区民が子どもたちを大切に思っていることがはっきり見える場所です。放課後保育の場、子どもの居場所となる児童館、小学校から児童館までの道、地域、環境も含めて子どもたちの権利、基本となる命の安全を保障する姿勢を区は示して欲しいと思います。今回同様、以前開催された公聴会でもいたたまれず途中退席しました。話し合いの場がなぜ一方的な不満のはけ口になるのかわかりません。それでも区は諦めず難しくとも区民と向き合って話し合いを続け、子ども達にとって最善の策を区民と共に見つけてほしいと思います。

阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりを振り返る会（8月31日）

再三の区民要望に答えようとしない区行政の姿勢に抗議し、就中、集会の、終わりに発せられた、まちづくり担当部長（野口知希氏）発言に抗議する。

振り返りは、反省すべきは修正する態度かと期待したが、区からの説明は今までの経緯を自分たちの都合の良いように説明するだけ。杉一小学校の跡地の活用を前提に、今後、様々な住民参加のプロセスで、まちづくり方針の改定や具体的取組を考えようというものであった。

平成29（2017）年、杉一小「現地建替」がいきなり、B案「病院跡地での移転建替」に変更され、以来6年超、いろいろな機会に、いく度も表明された住民の意見や要望は一切「聞き入れられることなく」、ただ「聞き捨てられてきた」。

説明資料（p27）で「住民の意見を聞いてないのでは？」との設問に対し、「…など様々な機会で見聞を伺ってきた」とシャアシャアと書いている。最初の問いかけは「住民の意見が一切聞き入れられていない？」ないしは「反映されてない？」とすべきであった。

この会では病院跡地への移転建替を考え直せとの多くの発言が披露された。その中で、「移転は決まっている」と思わせるような説明に対して「法的に決まっている？」と問い詰め、「変更することは禁止されていない」との震が関修辞が紛れ込んだり、「法的には確定しているわけではない」というところまでたどりついた。

時間切れ、再度話し合いの機会が必要との共通認識ができつつあった時、問題の発言は行われた。

一つ目は「賛成する住民もいる」とうそぶいたもの。

10 120名定員の集会で、だれひとり「区案賛成基調の発言」はなかった。反対一色に、一矢むくいたかったのかもしれないが、怒りに油を注ぐだけであった。

極めつけは、2つ目の「法的根拠がなければ、何をしてもよいのか」との、問いかけ発言。それは、露骨に「理の無い、理不尽な言い分」「無理難題の押しつけ」「何をしてもよいの類の法外な要求」との彼自身の受止めを関節表現でぶちまけたものであった。彼は、一時間半の区民の発言をこのように聞き、耐えていたのだ！

結局区は、6年余の区民からの意見・要望を、この類のものと、とらえていたことを、改めて示す結果となった。

かの職員には「杉並区自治基本条例」の前文を何度も読み地方自治の根本を認識いただきたい。前区長の進めてきた区政が本条例に全く沿って来なかったことに気づいて欲しい。（区民は、区長も議会も変えることを選択した！）

できないなら（国交省からの出向職員と聞いたので）、早々に元の職場に戻ってもらいたい。再び、区民との集会に登場する際は、基本条例を学んだ感想、この日の発言の撤回と謝罪を求める。

『施設再編成を考えるシンポジウム～区長と共に考えよう「未来へつなぐ公共施設のカたち」～

（20230812）』において、政策経営部施設マネジメント担当より、・計画策定プロセスの見直しや・計画決定のプロセス（今後のかたち）が検討され、※計画の根幹が変更されることは少なかった状況→

「たたき台をもとに、計画（案）そのものを区と地域住民が作成」への変更が示され、歓迎された。

（区民との意見交換で出た意見に基づくもので、「地域のことは地域のひとがよく知っている」が基本となっている。）都市整備部の皆様にも参考にさせていただきたいと思えます。

番号	[【記入欄】]
1	<p>3月25日に 行われた 意見交換会 にも 参加させて頂きました。阿佐ヶ谷の北東地区 まちづくりを振り返る会の 主な 内容は 第一小学校の 移転に関して でしたが 私は前日 防災課 職員数名と 杉並第一小学校 震災 救済所の××××とで 第一小学校の 災害備蓄倉庫にて 防災備蓄品の 棚卸しを やって来ました。 備蓄倉庫は 校舎一階の 理科室 又 体育館内の トイレ横に 小さな部屋又 校舎外の ヨドコー倉庫に 置いてあり 後は 全て 隣の 馬橋公園の 防災倉庫に有ります。 発災時 馬橋公園倉庫までの 道は狭く 木密地域 でもあり 大きな震災が 発生した時 対応が難しいと思いました。 倉庫の改修は 必要と思いましたが 反対の方々の声が大きく 自分の意見を 言える様な 雰囲気ではありませんでした。 区役所の方々も 仕事とはいえ大変だったと思います。 もちろん 私は賛成です。 大きな声をあげる方々も それぞれ 考え方はあるとは思いますが 是非この プロジェクトは 成功させて頂きたいと思っております。</p>
2	<p>阿佐ヶ谷北東まちづくり関連では久しぶりの、岸本区政になってから初めての説明会であり、出された住民意見の反映のために区は努力していただきたい。換地や用途変更についての説明は住民が理解できるよう分かりやすく。最後の意見を言った方に対する部長の答弁が酷いと思いました。行政と住民と一緒に、という前向きな意見に対して、「裏切る」等という言葉で分断をするような幹部が杉並区にいるということが悲しい。答弁も濁されたりで私達も納得出来ないの、2回3回と意見を言える場を作って欲しい。その場合に「振り返る会」という名前ではない方がいいと思います。</p>
3	<p>防災と住環境保全の面から杉一小的C街区移転は計画公表時点から反対のスタンスです。区外から笑い者になっていますよ。この計画を推進してきた前区長はいないのでから見直してできる筈です。前区長の尻拭いする職員も気の毒ですが、更に汗をかいて頂きたい。C街区を「社会教育」ゾーンに変更して産業会館の用地にすればA街区に杉一を入れられます。C街区は極力、空地を残しておいた方が防災面でベターでは。</p>
4	<p>「振り返る会」に参加して思ったことです。小学校移転に反対してる人がたくさんいます。資料P27の過去の3つの説明会に出られた方がおっしゃっていましたが、移転に賛成した人は一人もいなかったと。賛成してる住民がいない中で、どのようにして移転の案を決定したのか、それもあやふやなままでした。そうならば、その時点で遡って、どのようにしたらいい形になるのか話し合うべきじゃないでしょうか。子どもたちへのリスクを最大限に抑えること、そこを大事に思ってる住民は多いと思います。振り返って考え直すことが必要なのじゃないでしょうか。</p>
5	<p>区のこれまでの計画をわかりやすく丁寧に説明していただき、はじめて参加したがわかりやすかった。区の説明が予定より長いことに文句を言う区民に驚いた。決してダラダラと説明していたわけではなく、参加者の多様な思いを司会者がもう少し上手にコントロールできれば良かった。ああいう雰囲気では、しっかり計画通りに進めたいという地元区民は萎縮して発言できないと思う。発言者は保護者とご近所2分という方以外は、杉二小区域だったり天沼だったり外部の方は好き勝手にただ反対しているように感じた。水害ではなく震災面での空地（屋上ではない1階校庭）の必要性、災害医療での河北病院との連携などから考えれば、計画通りの移転は区としても苦渋の選択だった事がもう少し伝わればしょうがないな、という雰囲気になるのではないかな。新校舎での移転を待ち望んでいる児童保護者のためにも、一部の反対意見に負けずしっかりと進めて欲しい。頑張ってください。改築の概算経費（現地or移転）をしっかりと比較して示しても良いのでは？（仮設校舎のプラス経費など）</p>
6	<p>31日の皆さんのお話を伺うかぎり、住民が納得していないのは、A案からいきなりB案になり、検討する時間も無く決定してしまったことだと思います。密室での進行と言わざるをえません。ですからここは、白紙に戻して、A案とB案を検討するところからやり直したらよいと思います。進め方に問題があったのですから、もう一度住民参加で誰もが納得できる着地点を探しませんか。再度皆で話し合える場を設けて下さい。</p>

7	<p>職員の方からの最初の説明はわかりやすかったです。しかし、その後の意見のやりとりは非常に残念でした。発言されてた方々は、始めから説明を聞く態度でないですし、質問というよりも、演説しているだけでした。対話にはほど遠いと言いがなく、聞くに耐えられないものも多くありました。このような場では、やはり進行役の働きがもっと必要ですし、毅然とした対応も必要だったと思います。事業に賛成している方の意見も聞きたかったのですが、あのような場で発言するのは難しいですね。反対の声があるのはわかりますが、今まで決めて、納得している方も大勢います。賛成が多数あるからこそ進めて来られているはずですが、ここにきて反対の声があるからと言って、なんの前触れもなく、必要性もはっきりわからず計画を変えるなんて、区民をバカにしていると思います。</p>
8	<p>今回の「振り返る会」の主旨が、計画に反対される発言されている参加者には全く伝わっていなかったのではないのでしょうか？ この様な会を開く意味があったのでしょうか？ 開会はじめから進行役のファシリテーターの進行を妨げるような発言。終始、反対者のみが進行しているような無秩序な状態で会が進んでいました。時間を空けて参加したのに、反対される方ばかり発言され、賛同者は拍手で勢いつける姿に違和感しか感じられませんでした。冒頭の岸本区長の挨拶では、この会で区民の声を聞いてこの計画を変えられるのかな？とも取れるような発言にも違和感を感じました。「この計画は進めていきます。その前提で皆さまの声を伺いより良い計画にしていけますので、前向きなご意見をいただきたいと存じます。」と区長として断言すべきだったのではないのでしょうか。私は区の計画、これ迄の経緯を伺わせていただき是非とも進めていただきたいと考える者です。新進会通りは道狭く交通部分道路です。この道を含めこの街の道路が拡張され緑が増える阿佐谷の街を想像すると楽しみです。そうした区民がいる事を忘れずに推進していただきたいと思います。</p>
9	<p>阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりを振り返る会（8月31日） KM Page. 1/4 再三の区民要望に答えようとしないう行政の姿勢に抗議し、就中、集会の、終わりに発せられた、まちづくり担当部長（野口知希氏）発言に抗議する。振り返りは、反省すべきは修正する態度かと期待したが、区からの説明は今までの経緯を自分たちの都合の良いように説明するだけ。杉一小学校の跡地の活用を前提に、今後、様々な住民参加のプロセスで、まちづくり方針の改定や具体的取組を考えようというものがあった。平成29（2017）年、杉一小「現地建替」がいきなり、B案「病院跡地での移転建替」に変更され、以来6年超、いろいろな機会に、いく度も表明された住民の意見や要望は一切「聞き入れられることなく」、ただ「聞き捨てられてきた」。(KM Page2/4へ続く)</p>
10	<p>これまでの経過を振り返り、何が問題だったのか、今後、どのように次に繋げるのかを、皆で話し合う場だと思って参加した。しかし、そうはならず、区に対して鬱屈した不満をぶつける場になっていたような気がする。ファシリテーターの仕切りも無視され、一方的に個人個人の感情が吐露されていた感がある。そのため、建設的な意見交換会とはならず、個々の不満を吐き出す会となっていた。次回は、区と地域という対立軸ではなく、双方が少しずつ歩み寄り、将来に向けた前向きな議論の場となることを願う。</p>
11	<p>・アンケートがlogoフォーム併用になったのはよかった。すべての区民集会で導入してほしい。また、FAXも併用すべき。今回の500字で改行できない仕様なのは使いにくい。・区職員が一人（発言なし）以外すべて男性だった。部課長級ということなのだろうが、肩書なくても同内容・同責任で説明、回答できないのか。女性の部課長登用がベストだが、速やかな改革が望まれる。・学識経験者はまったく出番なかった。講師料は発生するのか。最初に「杉並区と関係ある人なのか」という質問に対し、杉並区の仕事はしていない、と最初回答したのに、最後に「竹内先生は都市計画審議会」と言っていた。なぜ最初ウソをつき、それを認めないま言い直すのか。・色紙うんぬんの進行は不評で中止になったが、明らかに紛糾する集會に、最初からそのような遊びの設定は不要。時間稼ぎとしか思えない。・区長は「継続した話し合いの場」を約束して終わった。速やかに次回を設定し、区民との対話で一定の方針がつくまで、杉一小建て替え懇談会、エリアプラットフォーム、まちづくりセッションは進めないでほしい。区民意見を最大尊重して進めるべき。・500字では足りない。</p>